

第26回理事会 2023年3月9日議決

## 2023年度事業計画書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会

## [公益目的事業 1]

高等学校における文芸教育振興のための助成

# 第 58 回 高校生のための文化講演会

予算 4,256 万円

作家、評論家、翻訳家、マンガ家など様々な分野で活躍中の方々を講師として、全国の高校生を対象に講演会を実施します。成長過程にある高校生に読書や学ぶ喜びを伝え、未来の指針を考える契機となることを企図しています。累計で開催校は全国4,281校、聴講生徒数は360万人を超えています。

昨年度は感染リスクを避けるために事前収録した講演DVDを学校に送付して、授業の一環として聴講してもらい、講演会を実施しました。

しかし、共催の各地方新聞社や学校側からリアルに講演を聴きたいという要望が強かったこともあり、今年度は従来のかたちに戻して講演会を実施する予定です。現在、講師27名が決まり、各新聞社が学校選定に入り、より詳しい日程がこれから決定していきます。

### ●実施概要

企画名	第 58 回 高校生のための文化講演会
主催	公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会、各都道府県新聞社 37 社
後援	文部科学省(予定)、都道府県教育委員会(予定)、集英社 ほか
期間	前期:2023年5月29日(月)～6月30日(金) 後期:2023年9月4日(月)～9月29日(金)
会場	各都道府県の高等学校
講師	作家、評論家、翻訳家、マンガ家など様々な分野で活躍する著名な方々 (村山由佳氏、島田雅彦氏、鎌田實氏、今村翔吾氏、 森田真生氏、中野京子氏、武田砂鉄氏他 計 27 名予定)
図書寄贈	集英社文庫 100 冊セット、集英社国語辞典、講師著書
配布物	小冊子『読書への招待 2023』、講師紹介チラシ

※新型コロナウイルスの感染状況により、新聞社、学校と協議を重ねた上で一部延期、一部中止等になる可能性もあります。

## [公益目的事業 2]

高等学校及び高等学校生徒を対象とする創作活動に対する顕彰、助成

### 第43回 全国高校生読書体験記コンクール 予算 2,266 万円

「読書体験記」は、特に心に残っている本、大切にしている本を取り上げ、どのような状況でどのように読んだか、どのような影響を受けたかなどを書くことで、読書が自らの人間形成にどれほど重要なものであるかに気づいてもらうために企画した事業です。

2021年度「第42回 全国高校生読書体験記コンクール」には、全国424校から約76,000編の応募がありました。表彰式は1月30日に東京ドームホテルにて行いました。

今年度もひとりでも多くの高校生がコンクールに参加してくれるよう、告知、発表などを工夫していっそう充実を図ります。

#### ●実施概要

企画名	第43回 全国高校生読書体験記コンクール
主催	公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会
後援	文部科学省、全国都道府県教育長協議会、 全国高等学校長協会(以上予定)、 集英社、各新聞社(36社) 他
告知	2023年6月応募要項一式を全国の高校 約5,700校に送付
応募締切	2023年9月30日(当日消印有効)
都道府県選考	2023年10月1日～10月中旬
中央選考会	2023年12月上旬
中央入賞発表	2023年12月中旬(中央入賞者へ通知、各新聞社には書面にて通知)
財団HP広報	2024年1月下旬
表彰式・懇親会	2024年1月下旬

#### ●中央選考委員(予定・敬称略)

辻原 登 (作家)

穂村 弘 (歌人)

角田光代 (作家)

文部科学省初等中等教育局主任視学官

全国高等学校長協会

●選考方法

都道府県別選考会で入選作 5 編(優良賞 1 編・入選 4 編)を選出し、各都道府県の優良賞 47 編の中から、中央選考会において、中央入賞 8 編\*を決定する。

※文部科学大臣賞 1 名、全国高等学校長協会賞 2 名、一ツ橋文芸教育振興会賞 5 名

●賞

中央入賞 8 名	
文部科学大臣賞 1 名	賞状・楯・記念品
全国高等学校長協会賞 2 名	賞状・楯・記念品
一ツ橋文芸教育振興会賞 5 名	賞状・楯・記念品
優良賞 39 名	賞状・記念品
入選 188 名	賞状・記念品

●学校賞

中央入賞者在学校	楯・集英社文庫 100 冊セット
優良賞入賞者在学校	集英社文庫 50 冊セット
入選者在学校	集英社国語辞典

### [公益目的事業 3]

青少年の健全な育成に関する調査研究、実践活動を行っている団体、及び個人を後援、助成

#### ①「中国 高校生日本語作文コンクール」への助成 予算 300 万円

「中華人民共和国 高校生日本語作文コンクール」は、「一般財団法人 日本児童教育振興財団」内「日本青少年研究所」が主催する事業で、中華人民共和国で日本語を学ぶ高校生たちが日本語で綴った作文を顕彰するものです。2015 年度から助成を開始、今年度も助成したいと考えます。

2023 年度は表彰式はオンラインで実施し、日本の高校生と交流する 10 名の訪日代表を選抜、秋または冬に来日する予定です。

#### ●実施概要

企画名	第27回 中国高校生日本語作文コンクール
主 催	一般財団法人日本児童教育振興財団 内 日本青少年研究所
共 催	中国青少年研究中心
協 賛	日本加除出版 株式会社 公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会 東京上野ロータリークラブ
審査会	2023 年 3 月 14 日 (一等賞 50 名、二等賞 50 名を決定)
表彰式	2023年7月下旬〈オンライン表彰式〉 一等賞受賞者50名参加、最優秀賞10名を訪日研修の代表とする
日本訪問	秋または冬を予定 (調整中)

## ② 全国高等学校国語教育研究連合会への助成

予算 250 万円

全国高等学校国語教育研究連合会（略称：全国連）と、その傘下の地方組織である高等学校の国語科教師の研究会（国語部会）が催す講演会に、講師を派遣して助成したいと考えます。7～8団体への助成を予定しています。

## ③ 全国高等学校文化連盟への後援・助成

予算 462 万円

公益社団法人全国高等学校文化連盟（略称：全国高文連）による、中央・地方の高等学校文芸コンクールを中心に、同連盟の図書専門部門、文芸専門部会などの読書推進活動への助成です。

講師派遣に加え、2007年度より全国高等学校文芸コンクールに協賛、文芸部誌部門の最優秀賞に副賞（集英社文庫50冊セット）を、優秀賞に「一ツ橋文芸教育振興会賞」として賞状と副賞（同50冊セット）を贈呈しています。また本年も、文学、学術、思想、芸術など様々なジャンルから、良質な議論や情報を取り上げ紹介する新聞「週刊読書人」を買い上げ、全国163校の高等学校国語担当主任教諭に送付する予定です。

## ④ 「ノベル大賞」への助成

予算 200 万円

新人作家の育成を目的とした「ノベル大賞」は、株式会社集英社と共催する公募文学賞で、若手作家の登龍門の一つとなっています。この文学賞は、氷室冴子氏、唯川恵氏、山本文緒氏、谷瑞恵氏、須賀しのぶ氏ら第一線で活躍する作家を輩出してきました。今年度も引き続き共催、助成します。

### ●選考委員（敬称略・五十音順）

桑原水菜(作家)

今野緒雪(作家)

三浦しをん(作家)

吉田玲子(作家)

カズレーザー氏（ゲスト審査員）

## ⑤ 「聞き書き甲子園」への助成

予算 50 万円

本年22回目を迎える「聞き書き甲子園」（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワーク、他が主催）の活動に、本年度も助成したいと考えます。

## ⑥ 災害罹災校への支援・助成

予算 150 万円

コロナ禍で学習や生活に困難が生じている生徒たちを支援するため、本年度は「あしなが育英会」に100万円の寄付をいたします。また引き続き、自然災害等の発生で罹災した高等学校に対して支援、援助活動を行います。

## 法人会計

予算 904 万円

以上